

# 厳島神社大鳥居の保存修理工事について

2019.7.8.

廿日市市観光課

## 1. 厳島神社大鳥居とは？

- 平清盛の援助を受け、1168年建立（初代）で、現在の大鳥居は1875年建立の8代目にあたります。
- 主柱の材料はクスノキで、東側の柱は宮崎県、西側の柱は香川県の木を用いています。
- 世界遺産及び国の重要文化財に指定されています。

## 2. 保存修理工事の内容

- 屋根の葺き替え（檜皮葺）、扁額の修繕、柱の塗装の塗り替え（朱色）、木部補修、足元樹脂工事
- 柱の破損調査（金具の破損、腐食、内部の空洞化など）
- 調査をもとに構造診断 → 補強方法の検討 → 専門委員会の意見 → 文化庁等承認 → 施工

## 3. 施工工事期間中のビジュアル

<p>① 2019.6.17～7.10</p>  <p>主柱・袖柱に足場を組む</p>	<p>② 2019.7.20～未定</p>  <p>大鳥居全体に足場を組む</p>	<p>③ 2019.8.26～未定</p>  <p>西松原から大鳥居に工事車両用の足場（仮設栈橋）を組む</p>
---	--	--

※ イメージです。目の粗いシートで覆われますので、方角によってシルエットが見えます。

※ 鳥居本体の仮設足場および仮設栈橋周辺に、ロープ柵を設置します。

※ 管絃祭は旧暦6月17日。2019年7月10日から7月19日までは足場を撤去しますが、部分的にロープ柵を設置します。

## 4. 影響を受けるイベント

時期	イベント名	鳥居の見え具合
2019.7.19	管絃祭 2019	通常どおり
2019.8.24	水中花火大会 2019	②
2020.8.6	管絃祭 2020	② 御座船が通れるように中央足場は撤去
2020.8～	東京五輪・パラリンピック 2020	②

## 5. ご理解いただきたい事項

- 大鳥居の工事は、厳島神社が、専門委員会の意見や国等の承認を得て行います。
- 保存修理に係る調査はこれらの意見・指導によるもので、世界遺産の保存・維持のために必要な調査となります。
- 調査や工事を進める中で、工事期間や工事内容は変更となる場合があります。